

授業科目 義肢装具自立支援概論

【担当教員名】 東江由起夫、大鍋寿一	対象学年	1	対象学科	義肢
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】
 義肢装具ならびに福祉機器・用具を通して障害者と高齢者のQOLをサポートする専門職の役割を理解するために、義肢装具と福祉機器・用具の概要について学ぶ。またこれらを体系的に理解するために、その定義や種類、分類について学習し、基本的な専門用語については英語を学ぶ。さらに義肢装具ならびに福祉機器・用具を取り巻く業界や歴史、現状と展望についても理解を深める。

- 【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】
1. 本学科が目指す専門職像について説明できる。
 2. 義肢装具ならびに福祉機器・用具業界の歴史、現状と展望について説明できる。
 3. 義肢装具ならびに福祉機器・用具に関する定義と分類、用語について説明できる。
 4. 義肢装具ならびに福祉機器・用具を必要とする対象者について説明できる。
 5. 義肢装具士法と義肢装具士の役割について説明できる。
 6. 医療福祉ならびに福祉機器・用具を取り扱う専門職の役割と、その関わりについて説明できる。
 7. 義肢装具ならびに福祉機器・用具に関する専門用語を英語で答えることができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション（社会人のあるべき姿、本学科が目指す専門職像、福祉機器・用具の概要、福祉機器・用具を必要とする対象者の動向と取り巻く業界、現状と展望、WHO等）	1,7	講義と質疑応答（大鍋・東江）
2	福祉工学概要	2,7	講義と質疑応答、演習（大鍋）
3	福祉機器・用具と義肢装具の歴史	2,7	講義と質疑応答、演習（東江）
4	欧米の福祉機器・用具	2,7	講義と質疑応答、演習（大鍋）
5	ユニバーサル・デザイン	2,7	講義と質疑応答、演習（大鍋）
6	福祉機器・用具の種類と分類	3,7	講義と質疑応答、演習（大鍋・東江）
7	福祉機器・用具を必要とする対象者Ⅰ（四肢及び体幹機能障害者）	4,7	講義と質疑応答、演習（大鍋）
8	福祉機器・用具を必要とする対象者Ⅱ（視覚・聴覚・言語障害者）	4,7	講義と質疑応答、演習（大鍋）
9	福祉機器・用具を必要とする対象者Ⅱ（その他）	4,7	講義と質疑応答、演習（大鍋）
10	義肢の種類と分類	3,7	講義と質疑応答、演習（東江）
11	義肢を必要とする対象者	4,7	講義と質疑応答、演習（東江）
12	義肢の種類と分類	3,7	講義と質疑応答、演習（東江）
13	装具を必要とする対象者	4,7	講義と質疑応答、演習（東江）
14	義肢装具士法ならびに義肢装具自立支援に求められる人材、医療福祉に従事する関連職種福祉機器・用具を取り扱う専門職	5,6	講義と質疑応答、演習（東江）
15	達成度確認試験	7	講義と質疑応答、演習（東江） 筆記試験（東江・大鍋）

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	福祉技術入門，後藤芳一・足立芳寛，Ohmsha，1998，4,515円			
参考書	1) ICF国際生活機能分類，WHO，中央法規，2003，3500円，			
	2) An Introduction to Rehabilitation Engineering, R.Cooper, H.Ohnabe and D.Hobson, Taylor and Francis 12,116円 or \$69.95.			
	3) 最新版テクニカルエイド，福祉用具の選び方・使い方，作業療法ジャーナル編集委員会，三輪書店，2005，3,500円			
	4) 切断と義肢，澤村誠志，医歯薬出版，2005，6,700円			
	5) 車いすのヒューマンデザイン，田中・大鍋監訳，医学書院，2000年，4,500円			
その他の資料	教員作成資料（プリント），板書，Power Point等を使用する。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
小テスト・レポート・筆記試験・学習態度 (20%) (20%) (40%) (20%)	問題解決能力だけでなく、課題発見能力に力を入れるので、積極的に質疑応答に参加すること。また小テストを毎回行い、学生個人の実力を高め、達成度を確認する。達成度確認試験後に予備授業時間を設け、自己の目標達成度の確認に使用してもらうため試験の解答解説を行う。

義肢装具自立支援学科 専門